環境調査結果の概要　(令和元年度、令和２年度実施)

環境調査は、公園の再整備にあたり、現況の生態系や水質を把握するため、令和元年度と令和２年度の２か年で実施した。

令和元年度　:動物調査(魚類、鳥類)、水質・底質(秋、冬)、立木

令和２年度　:植物、水質・底質(春、夏)

１．水質・底質の調査結果について

池の水は、千歳川からの流入水が主であり、地下水の流入も考えられる。

水質、底質ともに下流側に向かい酸素量が少なくなっている状態であり、コイ科の魚類などによる底泥の巻き上げ等により、概ね「B類型(生活環境の保全に関する環境基準)」に相当し、水浴には適していない。

２．植物の調査結果について

植物は、255 種確認しており、ミズバショウ等の湿性植物やコウホネ等の水生植物、ヨーロッパアカマツ等の園芸外来種が生育しているため、一般的な植物相よりも種類が多い。広葉樹のうち、湿性地を好むヤチダモ、ハンノキ、ケヤマハンノキもそれぞれ 20 本以上確認されている。

維管束植物　：255 種

内　針葉樹　9 種 88 本　　イチイ 21 本、トドマツ・カラマツ 16 本等

内　広葉樹　47 種 1042 本　　ハルニレ 147 本、エゾヤマザクラ 100 本等

重要種　　：3 種

外来種　　：48 種

３．鳥類の調査結果について

鳥類は、年間を通して 69 種確認しており、森林環境を好む種が 7 割、水辺を好む種が 2 割、その他 1 割である。

鳥類　　：69 種

重要種　　：7 種　オオセグロ、カモメ、ミサゴ、オジロワシ、
オオワシ、ハイタカ、ヤマセミ、オオアカゲラ

４．魚類等の調査結果について

魚類等は、穏やかな河川や池沼を主な生育環境としている 7 種確認されている。

魚類　　：7 種

その他　　：スジエビやミシシッピアカミミガメ

重要種　　：3 種　ヤチウグイ、エゾウグイ、ジュズカケハゼ

外来種　　：3 種　コイ、モツゴ、ミシシッピアカミミガメ